

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 3 月 3 日 (2005.3.3)

【公開番号】特開 2003-295559 (P2003-295559A)
 【公開日】平成 15 年 10 月 15 日 (2003.10.15)
 【出願番号】特願 2002-104884 (P2002-104884)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 G 15/01
 G 0 3 G 15/02
 G 0 3 G 15/08
 G 0 3 G 21/10
 G 0 3 G 21/14

【 F I 】

G 0 3 G	15/01	Y
G 0 3 G	15/01	L
G 0 3 G	15/01	M
G 0 3 G	15/01	R
G 0 3 G	15/02	1 0 1
G 0 3 G	15/08	5 0 7 B
G 0 3 G	21/00	3 1 0
G 0 3 G	21/00	3 7 2

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 3 月 26 日 (2004.3.26)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 6 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 6 3 】

次にステップ S 4 で画像形成が黒単色かどうかを判断し、Y E S の黒単色の場合にはステップ S 5 で黒単色画像形成枚数 n を「 1 」カウントアップする。黒単色画像形成枚数 n は、Y 画像形成部 3 1 7、M 画像形成部 3 1 8、C 画像形成部 3 1 9 で画像形成が行われなかった枚数であり、これら Y、M、C 画像形成部で色帯形成動作を行うかどうかの判断に用いる。そして、ステップ S 6 で黒単色画像形成枚数 n が所定値 5 0 0 枚を越えたかを判断し、Y E S であれば、ステップ S 7 でジョブ中の給紙枚数 f が所定値 5 0 枚を越えているかを判断し、Y E S の場合には、レジストローラ位置に用紙を止めたままステップ S 8 で黒以外の Y、M、C 画像形成部において色帯形成動作を実行する。この動作は、Y、M、C 画像形成部それぞれで幅 2 m m の帯形状トナー像を感光ドラム上に形成し、これを転写ベルトに転写し、転写ベルト 3 3 3 上の色帯画像を転写ベルトクリーナー 3 8 0 で回収する。そして、この動作終了時に黒単色画像形成枚数 n を 0 にクリアし、ステップ S 9 において所定のタイミングでレジストローラから用紙を給紙し、ジョブを継続する。